

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2024年6月下旬刊行

戦争を越える民主主義

—日本・イタリアにおける運動と熟議のデモクラシー—

石田 憲 著

四六判・ハードカバー・250ページ 本体価格 2,800円

第二次世界大戦という殺戮と破壊の中でも、民主主義はいかにして育まれたのか。戦争を越えて活動を再開したデモクラシー運動の細い糸をたぐりよせて、戦後の新たな出発を遂げた日本とイタリアの姿を描き出す。

【目次】

はじめに

第一章 戦前の君主制をめぐる日伊比較

1 政治と比較に見る君主制

2 リソルジメントと明治維新

3 戦争に翻弄される君主制

第二章 パルチザンの共和国—イタリア戦後民主主義への道程—

1 共和国に至る歩み

2 オッソラ共和国の諸相

3 戦後民主主義の始まりとしてのレジスタンス

第三章 戦争と平和をめぐる民主主義—日本における連続と断絶—

1 戦後デモクラシーの里程標

2 憲法研究会メンバーの役割

〈著者紹介〉石田 憲（いしだ けん）：千葉大学大学院社会科学研究院教授（イタリア史・政治思想史）

～版元から～ 第二次世界大戦時に共に枢軸国であった日本とイタリア。戦後、両国では民主主義的な思想と原則の確立は、どのような形で戦前からの継続や断絶と結びついたのでしょうか。本書は、まず両国における君主制の比較を行い、続いて戦時下での抵抗を選択したイタリア・パルチザン（オッソラ共和国）の場合と、国内での抵抗はほとんどなかったものの、戦後、日本国憲法へと繋がっていく鈴木安蔵を中心とした憲法研究会のひびとの思想・活動を取り上げます。

デモクラシー運動の中で熟議を通じて戦争が克服され、未来の民主主義社会が構想されていった過程を描き出します。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	戦争を越える民主主義 —日本・イタリアにおける運動と熟議のデモクラシー— 石田 憲 著 四六判・ハードカバー、250 ページ 本体価格 2,800 円	日本史・イタリア史（近現代）
	ご担当	新刊 ISBN978-4-908672-75-0 C1021	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様		

ご注文は (株) JRC へ

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230

返品条件付注文です。